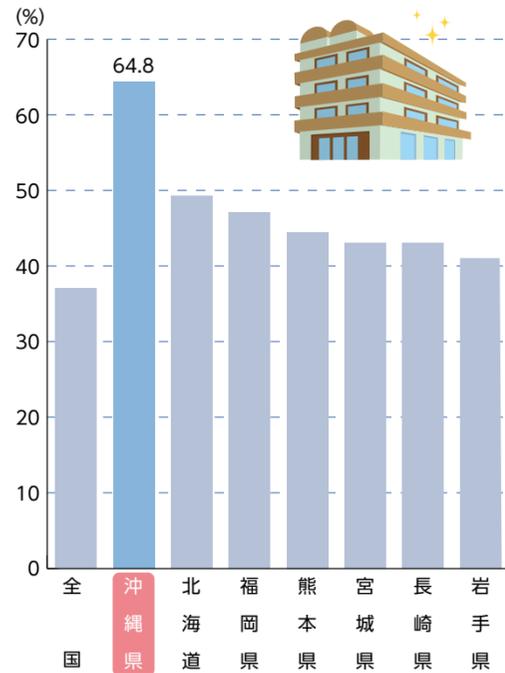


● 新築アパートの新設着工割合
(2013年)



64.8%

入居者募集、敷金礼金なし・インターネット接続料込み。このようなのぼりや看板が県内各地で目に留まるようになった。数カ月後には「満室御礼」となっていることも珍しくない。

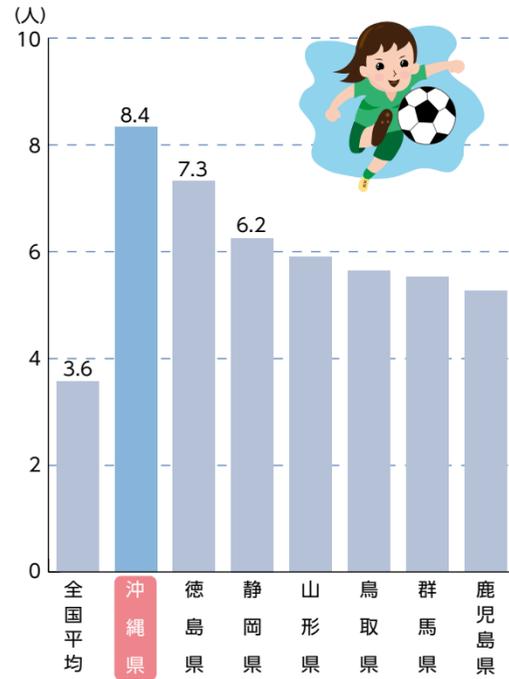
国土交通省「住宅着工統計」をもとに、2013年沖縄県の新設住宅着工戸数に対する貸家の着工率を算出すると64.8%となっている。これは全国第1位の水準だ。

人手不足や建設資材高騰等により、マンションや戸建住宅建設には一服感がでてきたが、貸家についてはなお堅調に推移している。数年前からは本土大手事業者も参入し、那覇近郊以外でも広く展開しているようだ。

沖縄は所得の割に住宅取得額が高く、持家率が低い傾向にある。物価の上昇や来年の消費税増税等を控え、貸家需要は一層の増加が見込まれる。沖縄の貸家建設はしばらく好調となりそうだ。

(海邦総研・中山禎)

● 女子サッカー選手登録数
(2013年・人口1万人あたり)



8.4人

日本サッカーチームのシンボルカラーの「ジャパンプルー」。明治時代、来日した外国人が、日本の藍色をエキゾチックで独特なカラーとして、名づけたようだ。ジャパンプルーのユニフォームをつけて、FIFAワールドカップを応援し、その勇士にあこがれた方も多いのではないか。

公益財団法人日本サッカー協会の資料によると、全国のサッカー選手登録数は、約96万3千人。沖縄県内の選手登録数は、約1万5千人。うち女子選手は、1,184人で、人口1万人あたりに換算すると8.4人。女子サッカーの競技人口率は、全国一高いのだ。

女子サッカーのなでしこリーグの下部になる「チャレンジリーグ」への参戦をめざし、県内でもチーム結成の動きがあるようだ。

県出身の女子選手が“なでしこジャパン”で続々と活躍する日も近づいているのではないだろうか。

(海邦総研・安田ひろみ)

● フルマソン完走者数
(2013年・人口1万人あたり)



117.5人

今やジョギングをする人は町中や公園に溢れている。ライフスタイルとなっている人も多いのではないだろうか。

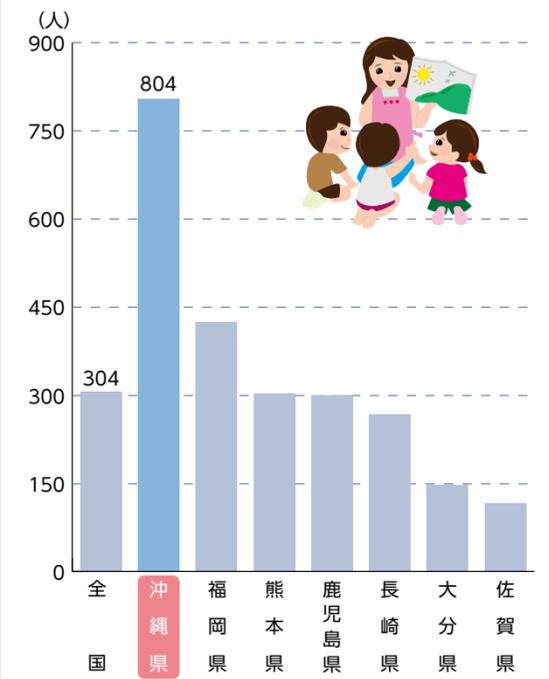
株式会社アールピーズ社「月刊ランナーズ」資料をもとに、15歳以上人口1万人あたりのフルマソン完走者数を算出すると、沖縄県は117.5人で全国1位である。

上位県はいずれも温暖な地域で、全国的にも人気の市民マソン大会が開催されていることが背景にあると考えられる。一般的に走るのはきついイメージがあるだろうが、最近では「グルメマソン」や「婚活マソン」といったユニークなマソン大会も多い。走ることにに対するイメージも変化しているのだ。

シューズさえあれば気軽に走ることができるのがジョギングだ。走るライフスタイルを広げることで、肥満率ワースト1位の汚名返上を果たせる日が来るのかも。

(海邦総研・知念拓)

● 放課後等デイサービス総定員数
(2012年/九州・沖縄地区)



804人

障害のある子供について、放課後や長期休業中の生活改善の必要性が長年にわたって叫ばれてきた。一方で、2012年4月の一部法改正で、児童デイサービスが、「児童発達支援」と「放課後等デイサービス」に分割された。これにより、民間企業も事業に参入しやすくなると期待されている。

厚生労働省「社会福祉施設等調査」によると、県内の放課後等デイサービス事業所における総定員数は804人。九州・沖縄地区で最も多く、全国でも5番目に多い。体制面では比較的充実しているといえそうだ。サービス内容の拡充もはかりつつ、子供達の今に寄り添い、子供達や家族にとってよりよい制度へと発展していくことを願いたい。

(海邦総研・湧川竜也)